

# 備えない防災・備える防災

災害への備えの考え方として「備えない防災」と「備える防災」があります。2つの考え方を理解して、無理なく災害に備えましょう。

【問】消防防災課（本庁4階） ☎ 24-2132



## 備えない防災 フェーズフリーを実践しましょう



消防防災課

### 身近なフェーズフリー

フェーズフリーの理念に沿った日用品の活用方法は、身の周りにたくさんあります。



アウトドア用品



カセットコンロ



自転車用ヘルメット



電気自動車 (EV・PHV)  
※発電機として使用可能



防災用品として使用



フェーズフリーとは、災害が起きた時のために準備するのではなく、日常で使っているものを非常時に役立てるという考え方で「備えない防災」と呼ばれています。フェーズフリーを取り入れて、無理なく災害に備えましょう。



詳しくはこちら

### フェーズフリーのひとつ ローリングストック法を紹介

普段の食品を少し多めに買い置きしておき、古いものから消費し、減った分を買い足すことで、常に一定量の食品などが備蓄されている状態を保つ方法です。



## 備える防災

### 自主防災組織をつくりましょう

自主防災組織とは、災害などが発生した時に自治会などの地域住民が助け合い、自主的に防災活動を行う組織です。災害発生前から「備える防災」を心がけましょう。



詳しくはこちら

### 自主防災組織をつくる手続き

自治会などで組織、会則などについて話し合い、申請してください。

手続きにより、補助金を受けることができます。

### 自主防災組織への補助金

結成時 20万円 ※1回限り

■対象 活動に必要な資器材、備蓄食料などの購入

活動時 2～3万円/年

■対象 訓練などを実施するための、炊き出しの材料、軍手などの訓練資器材の購入や講師への謝礼

えー!!  
全国平均の  
半分にも  
満たないんだよ



市と全国の比較

	市と全国の比較	
	市	全国
カバー済み	39.6%	85.4%
未カバー	60.4%	14.6%

全 435 自治会のうち自主防災組織を結成しているのは 143 自治会で全体の **32.9%**です。

市内全世帯のうち自主防災組織を結成している自治会の世帯数（自主防災組織カバー率）は 39.6%で、全国平均の 85.4% を大きく下回っています。

### 自主防災組織の活動例

#### 平常時

- ①防災知識の普及・啓発
- ②地域の災害危険箇所（ハザード）の把握
- ③防災訓練の実施

#### 災害時

- ①火災や安否確認などの情報収集・伝達
- ②要支援者の避難誘導
- ③炊き出しなどの給食・給水